

石川県内のものづくり企業への就職に強い！ポリテクカレッジ石川！

令和3年度修了生就職率100%！

県内就職率93%！

令和3年度修了生（生産技術科19名、電子情報技術科18名）のうち、27名が就職、10名が進学し、全員の進路が決定しました！さらに、就職した27名中25名が石川県内の企業に就職しています。ポリテクカレッジ石川で勉強した多くの修了生が、石川県の製造業を支え、地域の発展に貢献したいと頑張っています。石川県内の企業で働いている修了生の活躍事例をご紹介します。



【修了生紹介】
石川サンケン株式会社
(石川県羽咋郡志賀町梨谷小山ハの5番地)
志賀工場製造技術課要素技術一係 係長
Y.Hさん 2003年入社
生産技術科 修了
鹿西高等学校 出身

★こんな仕事をしています！

製造技術課の要素技術一係は、「安定したものづくりができる条件」を提供する部署で、「ワイヤーボンディング」という工程の新技術開発・製品解析などを専門に取り組んでいます。「ワイヤーボンディング」とは、半導体のチップとフレームを、髪より細い金や銅素材のワイヤーで繋げる手法で、非常に難しく、肉眼では判別できない問題も多く発生します。業務の特性上、新設備の仕様決めや導入も当該課が担っております。

★やりがいを感じる瞬間

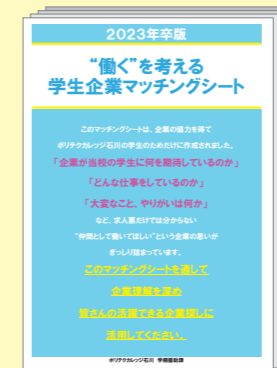
若い頃は上司から何度も注意を受け、この仕事が自分に向いていないと悩んでいました。ある時、仕事への姿勢を見つめ直す機会があり、「上司が何故そのように指導しているのか」を自ら考えるようになり、仕事への向き合い方が大きく変わりました。それによって製造技術の仕事が楽しくなり、技術者として成長することができました。

★ポリテクカレッジ石川で学んだことは、仕事に活かしていますか？

ポリテクカレッジは教育が充実しているため、世の中で求められているスキルが身につく学校です。私は生産技術科出身で、シーケンスやCADなどを学びました。その知識や経験は今でも役立っており、設備の図面や機械加工の際に活かされています。ポリテクカレッジの魅力は、仕事で役立つ実践重視の実習や設備で、技術を身につけられるところだと思います。

学生と企業をつなぐ マッチングシート

学生の就職活動支援の取組として、企業の協力のもと「学生企業マッチングシート」という冊子を作成し、学生に配布しています。マッチングシートは、企業がポリテクカレッジ石川の学生に何を期待しているか等、求人票だけではわからない情報をたくさん記載しています。当校の学生が企業理解を深め、自分が活躍できる企業へ就職するためのツールとして活用しています。



オープンキャンパス情報

【6月】

- オープンキャンパス(オンライン)
26日(日) ①10:00~11:55
②14:00~15:55

【7月】

- オープンキャンパス(対面型)
16日(土) 10:45~15:30

【8月】

- オープンキャンパス(対面型)
7日(日) 10:45~15:30
27日(土) 10:45~15:30

申込方法

当校ホームページ
<https://www3.jeed.go.jp/ishikawa/college/>
の応募フォームから申込または
学務援助課 (TEL:0768-52-1323)
までお電話ください



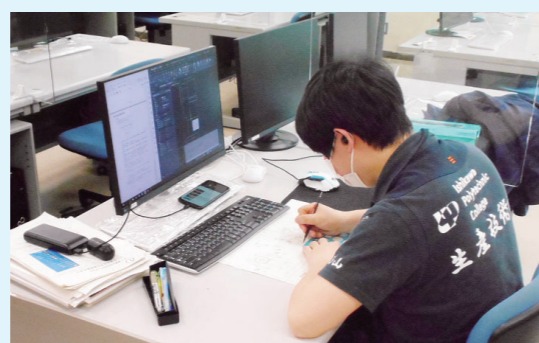
絶賛つぶやき中。

@IPCanamizu

生産技術科

生産技術科のカリキュラムを紹介します

生産技術科は、自ら「ものづくり」のできるエンジニアを目標に、「設計」「加工」「測定」「制御」の4本柱を中心とした実践技術者の育成を行っています。1年次は、機械製図や2次元CADなどの製図の基礎から、加工では旋盤やフライス盤をとおして加工の理論を実践的に学びます。2年次は、3次元CADなどによる設計技術や、NC工作機械などの操作・加工技術、シーケンス制御やPC制御などの制御分野を学びます。そして、最後に今まで学んできたことを応用し、学生自ら課題を設定し、設計・加工・組立・評価の一連の流れを総合制作実習として行います。今回は生産技術科のカリキュラムの4本柱の1つ「製図技術」を紹介します。



【設計：製図技術】

機械図面とは、機械部品を製作するために必要な図面で、機械技術者が自らのアイデアを第三者に正確に伝えるための最も重要なコミュニケーション手段です。また、機械図面は、部品の形状や寸法だけでなく、部品が目的の機能を発揮するために必要な寸法公差や形状・姿勢・位置などの幾何学的な誤差を規制する幾何公差など、実に多くの情報を伝達することができます。このように製図技術は機械設計に非常に大切な基礎技術となっています。

電子情報技術科

電子情報技術科のカリキュラムを紹介します

電子情報技術科では「電子技術」「情報技術」「通信技術」の3つの柱に加え、この3つを組み合わせた「組込み技術」について2年間かけて習得します。「組込み技術」とは、テレビやパソコン、冷蔵庫などの家電やスマートフォンなどの電子機器を動かすためには必要不可欠な技術です。電子情報技術科では、皆さんの生活にはなくてはならないものを陰ながら支えている技術を習得することができ、将来はその技術を活かし、県内外の製造業で活躍することができます。今回は電子情報技術科の3つの柱の1つである「マイクロコンピュータ工学実習」について紹介します。

マイクロコンピュータ工学実習



【情報技術：マイクロコンピュータ工学実習(1年)】

マイクロコンピュータ(マイコン)と呼ばれる、とても小さなコンピュータを使い、プログラミングする技術を習得します。このマイコンはほとんどの家電に使われていて、多くはC言語でプログラミングをおこないます。

例えば、電子レンジの場合、①~④の動きをします。

電子レンジの場合

- ① 温める時間を設定し、開始ボタンを押す
- ② マイコンに書かれた異なる動作のプログラムが動き始める(複数の異なる動作が同時に動き始める)
- ③ 動作1: 電磁波を発生させる装置が起動し、食品を温める
動作2: 温め時間の計測と終了までの残り時間が表示される
- ④ 温め時間が終わると、終わりを知らせる音が鳴る

電子レンジ: 電磁波(マイクロ波)を発生させ、それにより水分を振動させ食品を温める

このように多くの家電はマイコンに書かれたプログラムによって動作しており、この実習では世の中に必要不可欠な技能・技術を習得できます。